

Ⅲ 宗像カノコユリ研究会

平成22年及び23年に宗像市内22か所から採取したカノコユリの組織を、九州大学で遺伝子解析した結果、宗像固有のカノコユリが存続していることが判明しました。これからは、この宗像固有のカノコユリの増殖と普及を図る取り組みが必要です。

現在、むなかた水と緑の会や九州大学園芸研究ユニットによって、カノコユリの普及に向けた活動が行なわれています。しかし、カノコユリの復活を図るためには、より多くの市民に積極的に参加願って、カノコユリの生育に関する正確な知識を習得した人を増やすことが重要です。

こうしたことから、カノコユリ栽培のノウハウを把握し、それぞれの地域のリーダーとして活動できる人づくりを目指して活動する「宗像カノコユリ研究会」を、平成26年1月に設立し、現在40名を超える会員が活動を行っています。

この宗像カノコユリ研究会では、発芽した固有種の種を播いたプランターやりん片を植え込んだ鉢などを全員に配布し、自宅で身近に観察しながら管理技術を習得してもらっています。

また、年数回開催する研究会での講習や実習、情報交換及び研究会員の農場等での管理、種まき講習会や地域でのカノコユリに関する取り組みの支援、カノコユリに関するイベントなども行っています。



研究会での研修状況



種まきしたプランターは持ち帰り



木子の植込み実習



自宅管理のカノコユリを持ち寄り比較検討



農場での種播き



温度処理し小球根が出来た種子



りん片挿し研修



3年生球根の植付け実習



球根の植付け実習に参加した研究会員



オープンガーデン会場でのカノコユリ展示



研究会員による説明

平成26年度には、宗像市人づくりでまちづくり事業で、カノコユリの栽培に関する小冊子の作成やホームページの開設等を行っています。

平成26年1月に11名で発足した研究会も、1年後の27年1月には41名の会員となりました。また、2月の種まき講習で新たな参加希望が16名ありました。

2年後の平成28年には、固有種のカノコユリの球根が配布できるようになります。それまでに、植え付けやその後の管理等をリードできる人材の育成が急務です。

カノコユリの生育は、生育環境に大きく左右され、好適環境では人がちょっと手を添えるだけで自然増殖できます。しかし、好適環境でないとすぐに絶えてなくなってしまいます。そのため、正しい知識に基づいて、ほんの少し人が手を貸す必要があります。

研究会は、宗像市の花カノコユリを多くの市民が目にして楽しめるカノコユリの里づくりを行い、宗像のカノコユリを後世に残していくことを主旨に活動しています。

主旨に賛同される人を募集しています。興味のある方は下記に連絡して下さい。

連 絡 先

住所：宗像市大井1439-7

氏名：宗像カノコユリ研究会 会長 吉田博美

電話：0940-36-3054